

広報させぼ 情報カレンダー 05. 8月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2 燃料電池自動車 体験キャラバン ～8月12日まで	3 自然公園大会 ～4日、石橋34ス ケッチ展～29日、 中小企業金融公 庫出張相談	4	5 天体観望会 (13日、27日)	6 広島原爆の日 させぼシーサイ ドフェスティバル ～7日
7 夏休みこどもス キー体験キャン プ～8日	8	9 長崎原爆の日	10 夏休み郷土学習 教室～11日	11	12 発明相談 市亜熱帯動植物 園の開園時間延 長～14日	13 九十九島夏祭り ～14日 映画「釣りバカ日 誌16」県内先行 ロードショー
14 昆虫採集教室	15 全国戦没者追悼 式 精霊流し	16 よしい夏祭り 世知原高原夏祭 り	17 市立総合病院の 健康教室 ジュニアスポー ズレクリエーショ ン(19日、20日)	18 市立図書館の夏 休み「おりがみ教 室」、子育て講演 会、おもしろエ コ塾(25日)	19	20 えぼし子ども村 ～22日
21 えぼしんピック 2005 ハーブの押し絵 作成講習会	22	23	24 夏休み・福祉用 具体験学習～27 日、出前保育み んなよっといでー (30日)	25	26 人権啓発講演会 夜の水族館体験 (27日)	27 動物獣舎探検隊
28 バラの夏期せん定 講習会 昆虫などの鑑定 会	29 日本地すべり学 会・県民講演会	30	31	8月16日 ・よしい夏祭り (18時30分～21時の予定、吉井学習センター 体育室横広場) ・世知原高原夏祭り(18時～21時30分の予定、 山口神社) 9月上旬の主な行事予定 9/1 市総合防災訓練 9/3 「水を大切にしよう」イベント 9/10 天体観望会、動物獣舎探検隊		
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、佐世保商工会議所)						
毎月第2金曜 発明相談 (10時～15時30分、市役所商工労働課)						

救急・火災

医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999
Eイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス
shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第3日曜の13時～16時には、休日教育相
談を受け付けています)

女性相談

スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)
7月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
月 熱中症 火 大腿骨頸部骨折
水 子どもの救急シリーズ タバコを食べ
てしまった 木 人工鼓膜
金 統合失調症と患者会
土、日 夜間頻尿

テレホンガイド

人のうごき

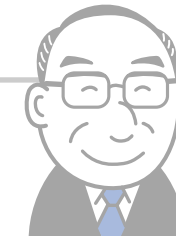
(7月1日現在)
総人口 248,538人 (269)
男 117,052人 (129)
女 131,486人 (140)
世帯数 98,153世帯(172)

6月中のうごき

転入 565 転出 841
出生 184 死亡 177

見て、聞く
させぼ
市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)
ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分
長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。

生きていた大湯水の教訓

この原稿が紙面に載るころ、本市の水事情が好転していることを願いながら筆をとっています。(7月4日記)
6月の降雨量は、過去30年間の6月の平均降雨量の8%に過ぎず、ダム貯水量は平成6年の大湯水時と同じように急降下で減り始めました。水道局から、このままでは7月5日には貯水率が50%を切るとの報告を受けました。これは平成6年に断水が始まったときの貯水率と同じです。
ところが、6月21日に節水の呼び掛けを始めると、翌日から毎日5%、また、7月2日から止水栓を少し減圧して、さらなる節水協力をお願いしたところ、毎日14%も給水量が減少しました。
川棚、佐々両町からの取水のご協力もありがたかったのですが、危機的状況を脱したのは、市民の皆さまのご協力のおかげと感謝した次第です。こうした協力が続けば、9月まで断水の可能性はないとの報告を受けたときは、正直言ってほっとしました。平成6年の大湯水の教訓が市民の皆さんの心に生きていたんだとあらためて感動しました。

佐世保市長 光武 顕

歴	史	散	歩	れきし さんぽ 481
---	---	---	---	-------------------

ふなだま
舟霊様(東浜町)

天神、十郎原から東浜に入る道と、沖新町から海岸沿いに入る道との合流点に、目立たない小さな祠が置かれています。妻入りの棟木下に「松尾山日宇新四国札所 御本尊舟霊様」と表示されています。四国巡礼の札所は、真言宗の開祖・弘法大師空海ゆかりのお寺を巡る庶民信仰。松尾山青蓮寺(白岳町)は、戦国時代の後藤惟明が開基した真言宗のお寺です。

舟霊信仰は、昔から漁業に携わる人が、和船を建造したとき、安全と豊漁を念じて舟の舳先に、さいころ、女性の髪、人形、五穀と銭などを密閉して納め、祀った信仰です。その後、壇ノ浦で滅亡した安徳天皇や平家ゆかりの人を祭神にした水天宮や、金刀毘羅大権現を祭神とした



ものが出てきました。
東浜の舟霊様の祠には、三体の石像が祀られています。二体は女神、一体は隨身と呼ばれる武人姿の守護神です。女神像は、冠を着け、裳裾の上に帯を垂らした中国風。航海安全の「媽祖像」を思わせませす。地元の故・千歳忠次郎氏は、生前「獲れた甲イカの甲に、くっきりと神様の姿が出ていたのでびっくりし、海岸に祀ったのが始まり」と舟霊さまの由来を話されました。しかし、この甲イカは昭和30年ごろのことで、女神像はもっと古く、あるいは合祀されたのかもしれない。

東浜は、佐世保湾内の漁業基地として歴史があります。南端の淀姫神社は巨木が

茂り、参道の石段脇の崖には弘法大師の磨崖像などが安置されています。(筒井隆義)

